学生時代に力を入れたこと

オンライン日本語コーナーの運営側として、自ら提案し実践した結果、参加者を60人以上募集できた経験である。私は、日本語交流の場を提供しているボランティア団体に所属しており、月に1回開催されるオンライン日本語コーナーの運営に携わっている。その際に、毎回の参加者の人数にバラツキがあること、参加者の人数が伸び悩んでいることに気づいた。そこで、私は以下の点を提案した。1つ目は、できるだけ多くの人に興味を持ってもらえるために、参加者が興味を持つテーマについてアンケート調査を実施し、より多くの参加者を惹きつけるテーマを取り上げた。2つ目は、今までは主催者または参加者のコミュニティを通じて宣伝していたが、ポスターを作成しSNSを通して日本語コーナーをアピールした。その結果、多くの反響を呼び、60人以上の参加者が応募してくれた。この経験から、問題意識を「なぜ」で終わらせないで解決まで持っていく力が身についた。

あなたがIBMで成し遂げたいことについて、希望する職種を選んだ理由を含め、具体的に記述してください。（ITスペシャリスト職）

私がIBMで成し遂げたいことは「IT技術を駆使し誰もが便利に暮らせる社会を実現する」ことである。グローバルに展開しているコンサルティング会社の長期インターンシップの中で、自動運転に関連するプロジェクトに参画した経験があり、先進国の自動運転の先端事例を集める業務を担当している中で、ハイテクノロジーが人々の暮らしをより豊かなものにし、企業の継続的な発展にも大きく影響していると実感した経験から、IT業界に強く興味関心を持った。その中でも、IBMerになりたい理由は2つある。まず、1つ目は、ワトソンのような絶対的な技術基盤を持ちながら、あらゆる分野でリーディングカンパニーとして誇りを持っている貴社であれば、日々新しい技術を吸収し、高い専門性を身につけるエンジニアに速く成長することができると考えた。そして、2つ目は、留学の際にそれぞれの個性と文化を持った人と関わった経験の中で、日々刺激し合い大きく成長したことから、貴社のようなグローバルな知見を持っており、多様な価値観の中で活躍する環境で働きたいと考えた。以上の志望理由を踏まえ、貴社で冒頭の「IT技術を通じた便利な暮らしの実現」を成し遂げたい。